

オーディオ実験室収載

電磁波吸収テープ NRF-005T の導入(12)(HP 収載)

－仮想アースへの適用(12)－

1. 始めに

前方(11)に引き続き、旭化成の Pulshut を応用したオヤイデの電磁波吸収テープ NRF-005T の仮想アースへの適用を検討します。

2. 電磁波吸収テープ NRF-005T の試聴方法

今回は、RCA 端子にセットする NRF-005T の仮想アースへの適用を検討します。そのために準備したのが、下記のパーツです。



これらにフィルムコンデンサーと抵抗を組み合わせ、NRF-005T を貼り付けます。



- A)ポリプロピレンフィルムコンデンサー100pF+金属皮膜抵抗 10Ωセット RCA 端子
- B)ポリプロピレンフィルムコンデンサー200pF+金属皮膜抵抗 10Ωセット RCA 端子



C) NRF-005T 貼り付け RCA 分岐プラグ



D)上記 RCA 端子をセットした NRF-005T 貼り付け RCA 分岐プラグ
試聴は Marantz SA11-S2 の空き RCA 出力端子に接続し、前報(1)でも使用した仮想アース Crystal E の導入(16)と同じく、聴きなれた CD の再生で音質を確認します。

Evidence EVCD015

ベートーヴェン Sonata for cello and piano No. 1 他

フランソワ=フレデリック・ギィ (ピアノ)

グザヴィエ・フィリップ (チェロ)

harmonia mundi KKC-5976

モーツァルト他 ピアノと管楽器のための五重奏曲 変ホ長調 K.452 他

アンサンブル・ディアーロギ

S&R AVCL-25005

バッハ他 あなたがそばにいたら他

森麻季 (ソプラノ) / 山岸茂人 (ピアノ)

3. 電磁波吸収テープ NRF-005T の試聴結果

SA11-S2 の再生経路は仮想アース Crystal E の導入(16)と同じく、次のとおりで、GPS-777 より 44.1KHz のクロックを入力しています。

SA11-S2 (GPS-777 クロック入力) →TruPhase

SA11-S2 からは、バランス出力端子からバランス/アンバランス変換ケーブルで引き

出していますので、上記の仮想アースは、空いている SA11-S2 アンバランス RCA 出力端子に繋がります。

まず、ベートーヴェンのチェロソナタを聴きながら、A)から D)を順番に聴いていき、最後に D)の状態で残りの 2 盤を聴いてみます。



A)の接続例



D)の接続例

A)の接続では、顕著な効果とは言えませんが、チェロの音が引き締まり、ピアノの打鍵のクリアーさが向上します。

B)の接続では、方向性は A)の場合と同様ですが、少し効果の程度が増し、チェロのピチカートが明瞭になります。

C)の接続では、間接音が豊かになり、響きが力強くなります。

D)の接続では、B)と C)の効果が加わったようになり、力強さと明瞭さが出てきて演奏会で聴いてきた印象に近づいてきます。

ここで、いったん D)を取り外し、モーツァルトの五重奏曲と森麻季を聴き、再度 D)を接続して聴いていきます。

モーツァルトの五重奏曲では、D)を接続しますと、さほど顕著ではありませんが、フォルテピアノの打鍵のアタック感が出て、ナチュラルホルン等の古楽器の質感が

向上し、ユニゾンの濁りが取れます。

森麻季では、D)を接続しますと、さほど顕著ではありませんが、森麻季のヴィブラートなど細かい表情が分かりやすくなり、ピアノの打鍵がクリアーになります。

仮想アース Crystal E の導入(16)において、Crystal E を接続しても、劇的な変化とは言えませんが、ピアノの余分な響きが減って打鍵が明瞭になり、チェロの音も演奏会で聴いたようなリアル感が出たと報告しています。今回も劇的な変化とは言えませんが、上記のような結果が得られましたので、D)の接続をそのまま残しておくことにします。

4. まとめ

Marantz SA11-S2 の RCA 出力端子において、フィルムコンデンサー、抵抗、NRF-005Tなどを組み合わせた仮想アースの効果を認めました。

以上